



さとうきび生産における担い手育成の取組

平成26年10月8日（水）
徳之島町文化会館

鹿児島県 農政部 農産園芸課

(目次) さとうきび生産における担い手育成の取組

- 1 鹿児島県農業におけるさとうきびの位置づけ
- 2 さとうきび生産農家の構造
- 3 さとうきび生産の推移
- 4 品目別経営安定対策の対象者
- 5 品目別経営安定対策における共同利用組織
- 6 営農組織の育成



1 鹿児島県農業におけるさとうきびの位置づけ

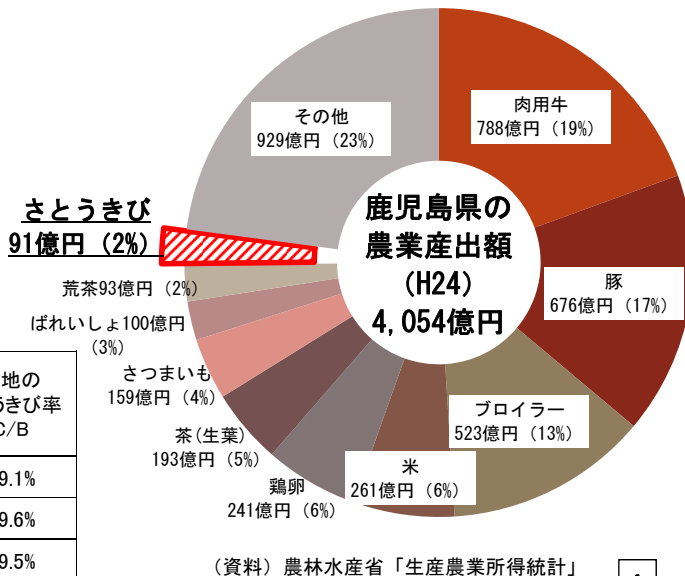
- さとうきびは、本県南西諸島の約7割の農家が生産している基幹作物であり、製糖業は地域経済を支える重要な産業
- さとうきびの農業産出額(24年)は91億円で、本県の耕種部門において、米、茶(生葉)、さつまいも、ばれいしょ、荒茶に次ぐ第6位の位置を占めている。(全体では10位)

地域	農家戸数 (H22年) A	さとうきび 農家戸数 (H25年産) B	さとうきび 農家割合 B/A
種子島	3,891戸	2,256戸	58.0%
奄美	8,174戸	6,197戸	75.8%
県計	12,065戸	8,453戸	70.1%

(資料)農林業センサス, 市町村報告

地域	耕地面積 (H25) A	畑面積 (H25) B	畑地率 B/A	さとうきび 収穫面積 (H25) C	畑地の さとうきび率 C/B
種子島	8,800ha	6,930ha	78.8%	2,710ha	39.1%
奄美	16,884ha	16,813ha	99.6%	6,662ha	39.6%
県計	25,684ha	23,743ha	92.4%	9,372ha	39.5%

(資料)農林水産省「耕地及び作付面積統計」, 市町村報告

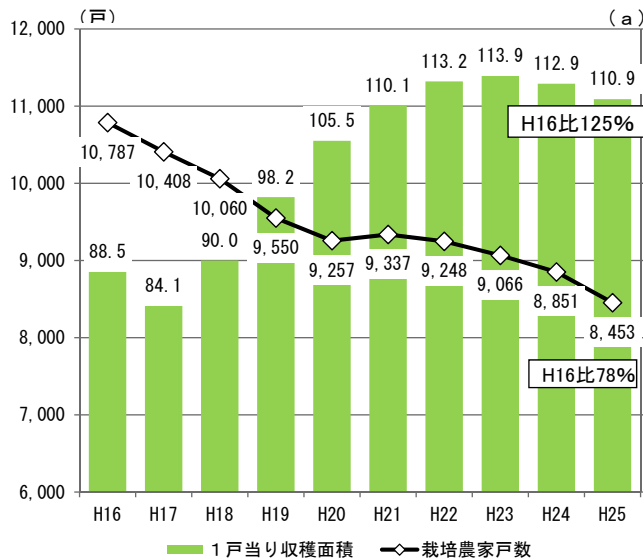


2 さとうきび生産農家の構造

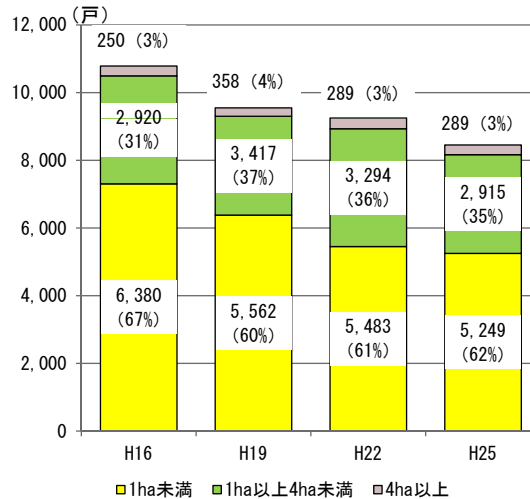


- さとうきびの栽培農家戸数が減少傾向にある一方で、1戸当りの収穫面積は拡大傾向にあったが、21年産以降は110a程度で推移
- 規模別農家戸数では、1ha未満規模が減少。1ha以上規模の戸数は概ね横ばいであるが、構成比は16年産に比べ伸びている。

さとうきび栽培農家戸数と1戸当り収穫面積の推移



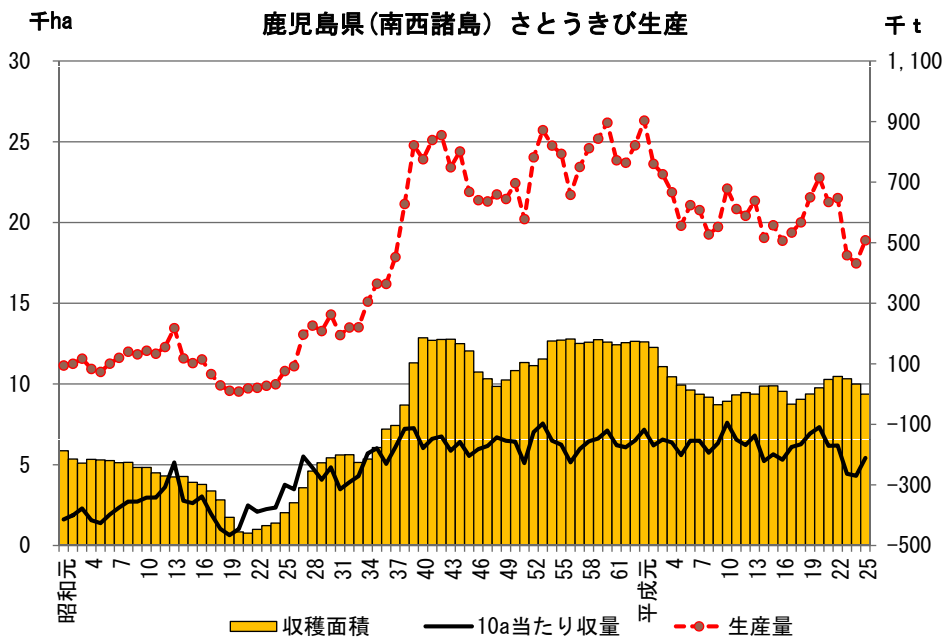
面積規模別農家戸数(割合)の推移





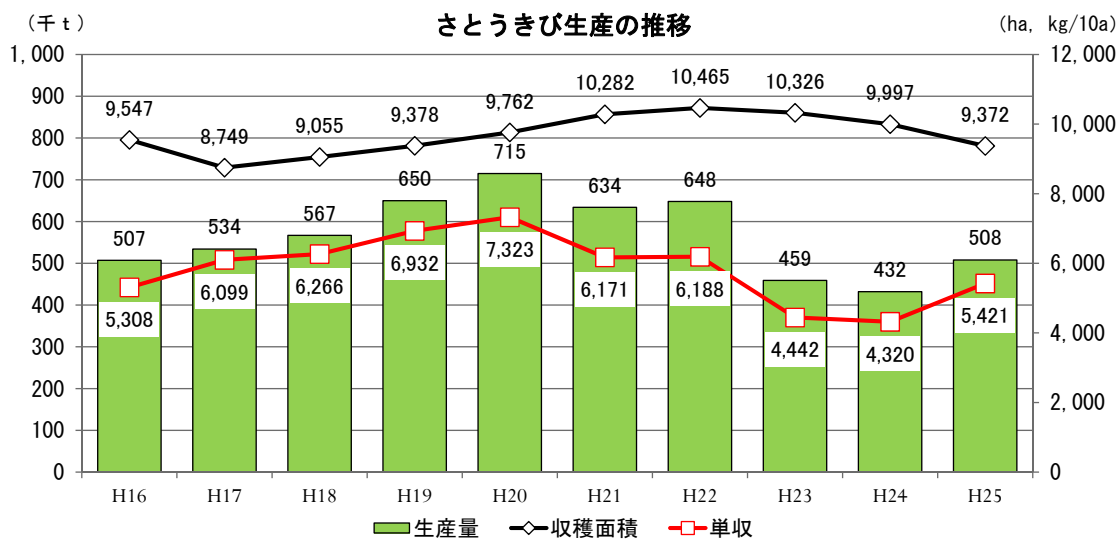
3 さとうきび生産の推移①

- 収穫面積は、戦後昭和40年ごろまで拡大。この時期は単収の向上もあり、生産量は飛躍的に拡大。
- その後、増減の起伏はあるもの、昭和60年産以降の生産量は、減少傾向にあり、60万トン程度で推移し、近年は3年連続で、昭和40年産以降で最低水準の不作。



3 さとうきび生産の推移②

- 収穫面積は、平成17年産から22年産まで増加傾向にあったが、23年産以降は減少
- 生産量は、単収の伸びもあり20年産まで順調に増加したが、23年産以降は、気象災害や病害虫被害等の影響で、3年連続の不作
- 面積の増加とともに夏植が減少し、株出が増加（16年産：56%→25年産：68%）
- 品種別には、農林8号(52%)，農林22号(19%)，農林23号(17%)が多く、3品種で約9割を占める

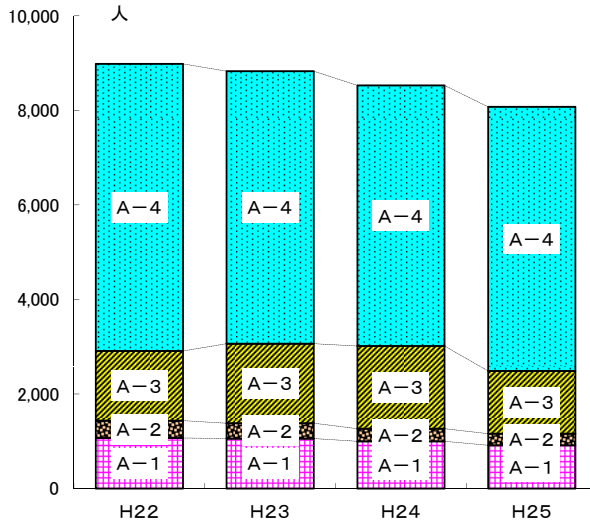


4 品目別経営安定対策の対象者



- 平成19年度からスタートした品目別経営安定対策は、認定農業者、一定の作業規模を有する生産者・組織のほか、共同利用組織の構成員及び基幹作業を委託している者等を支援対象とする制度
- 当初の交付対象者は9,211人であったが、25年産は8,074人にまで減少(対19年度：13%減)

品目別経営安定対策に係る要件区別生産者の人数及び割合



○交付対象者数 (人)

年度	H22	H23	H24	H25
A-1	1,070	1,059	1,001	916
A-2	366	323	265	245
A-3	1,474	1,682	1,750	1,326
A-4	6,074	5,765	5,512	5,587
計	8,984	8,829	8,528	8,074

○交付対象者数の比率 (%)

年度	H22	H23	H24	H25
A-1	12%	12%	12%	11%
A-2	4%	4%	3%	3%
A-3	16%	19%	21%	16%
A-4	68%	65%	65%	69%
計	100%	100%	100%	100%

A-1:認定農業者等 A-2:一定規模以上の経営体 A-3:共同利用組織の構成員 A-4:基幹作業の委託者

5 品目別経営安定対策における共同利用組織



◆島別の対象者数の推移 (H21とH25の比較)

A-3 共同利用組織の設立事例

島名	年度	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	合計
種子島	H21	209	150	176	1,398	497	2,430
	H25	261	90	359	1,545		2,255
	増減	+52	△ 60	+183	+147	△ 497	△ 175
奄美大島	H21	54	21	0	435	94	604
	H25	41	5	0	458		504
	増減	△ 13	△ 16	+0	+23	△ 94	△ 100
喜界島	H21	100	97	7	409	60	673
	H25	95	61	23	467		646
	増減	△ 5	△ 36	+16	+58	△ 60	△ 27
徳之島	H21	278	149	21	2,654	268	3,370
	H25	176	57	944	1,696		2,873
	増減	△ 102	△ 92	+923	△ 958	△ 268	△ 497
沖永良部島	H21	351	38	0	723	123	1,235
	H25	292	10	0	790		1,092
	増減	△ 59	△ 28	+0	+67	△ 123	△ 143
与論島	H21	52	45	0	339	337	773
	H25	51	22	0	631		704
	増減	△ 1	△ 23	+0	+292	△ 337	△ 69
県計	H21	1,044	500	204	5,958	1,379	9,085
	H25	916	245	1,326	5,587		8,074
	増減	△ 128	△ 255	+1,122	△ 371	△ 1,379	△ 1,011

(資料) (独)農畜産業振興機構(H25は速報値)

A-1:認定農業者等 A-2:一定規模以上の経営体
A-3:共同利用組織の構成員 A-4:基幹作業の委託者
A-5:H19~H21特例農家

22年度設立 (5組織)

- ①西之表市さとうきび振興会防除組合 (種子島, 防除)
 - ②中種子町さとうきび甘藷振興会防除組合 (種子島, 防除)
 - ③南種子町さとうきび甘しょ振興会防除組合 (種子島, 防除)
 - ④JAあまみ徳之島地区さとうきび部会 (徳之島, 防除)
 - ⑤JAあまみ天城地区さとうきび部会 (徳之島, 防除)
- ※④は推進計画を作成

23年度設立 (2組織)

- ①JAあまみ和泊地区さとうきび部会 (沖永良部島, 防除)
- ②川嶺太陽ファーム (喜界島, 収穫)

24年度設立 (5組織)

- ①名久里さとうきび生産組合 (種子島, 収穫)
- ②西新原さとうきび生産組合 (種子島, 収穫)
- ③AKKファーム (喜界島, 収穫)
- ④ファームチームTMF (喜界島, 収穫)
- ⑤アグリ嶺山 (徳之島, 収穫)

25年度設立 (3組織)

- ①町田さとうきび生産組合 (徳之島, 収穫)
- ②富久さとうきび生産組合 (沖永良部, 収穫)
- ③池さとうきび生産組合 (沖永良部, 収穫)

26年度設立 (4組織)

- ①下目さとうきび生産組合 (種子島, 収穫)
- ②塩道さとうきび生産組合 (喜界島, 収穫)
- ③徳和瀬上木野さとうきび営農改善組合 (徳之島, 収穫)
- ④神嶺地区営農推進協同組合 (徳之島, 収穫)

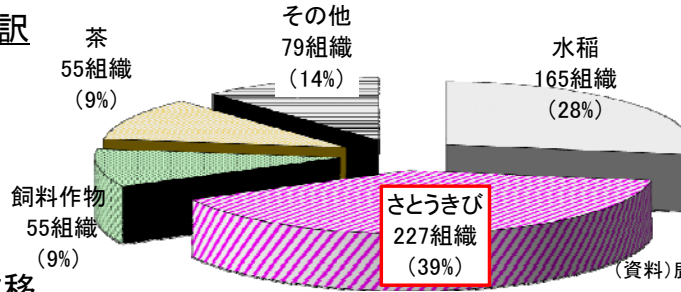
6 営農組織の育成



- 農業機械の共同利用や農作業の受委託を行う営農組織数は、さとうきびが最も多く4割を占める
- ハーベスタ収穫率も年々増加し、4年連続で収穫面積の8割以上を占める

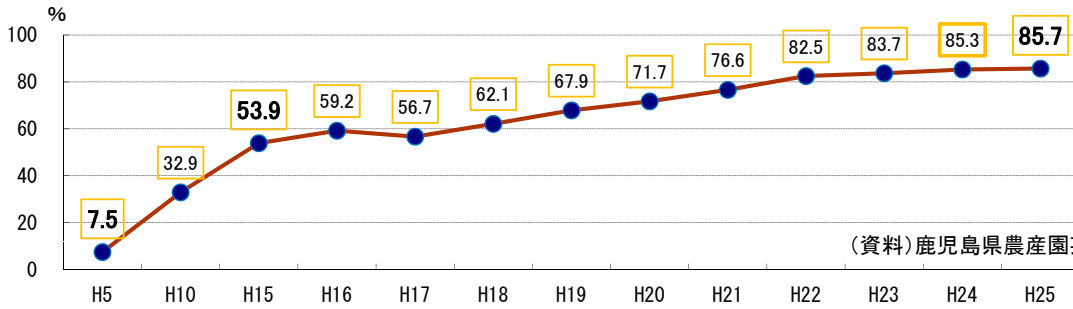
◆品目別の営農組織の内訳

(24年度末現在)



(資料)鹿児島県経営技術課調べ

◆ハーベスタ収穫率の推移



(資料)鹿児島県農産園芸課調べ